郷の集い

学校
郷友会
新生
発行
文集部

秋季体育大会

楽しみにしていた体育大会も 秋晴れの九月十五日 学校 校下をあげて盛大に催されました。ちょうど十三、十四、十五日の三日間だけが晴天にめぐまれたことは 何よりでした。

今年は本部席と児童席との位置を反対にし、また 午前中は紅白対抗、午後は分団対抗と 昨年とはやゝちがった形式で行いましたが、年一年と工夫し よりよいものをと望んでの結果です。 そこで 今年は皆様からのアンケートをいただきました。

アンケート

今年の体育会をごらんになって 次の点について ご意見をお願いしたいと思います。

1. 児童のお弁当について
   ㈠ 服装 ㈡ 昼食 ㈢ 開食 ㈣ 会場 ㈤ 分団別対抗 ㈥ 種目 ㈦ その他
2. 児童のお弁当はよくないから やめたらよいと思う点について
3. 子供のことでの希望
4. PTAとしての希望

回答（その一）

1. の服装　全部の学校生徒が同一で大変よいと思います。以後も今年通り御願い致したいと思います。

㈡昼食　父母と共に楽しく運動場でたべたので、大変よいと思い、子供も朝からまってありました事で、昼食だけは一緒にいただきたいと思います。

㈢会場　本年通り毎年実行していただきたいと思います。

㈣分団別対抗　今まで通り赤白だけでと思います。何か三分団とは言いますが、一区の分団と三区の連合分団では対抗にならないと思います。今後よろしく考えていただきたいと思います。

㈤種目　子供の種目のふえすぎがいと思います。例えば百メートルとか、リレー、長距離、人さがしなど。私達としてはそのお時間の事もありますので、本年はうまくできたと思います。

㈥その他　余り考えつく事もありませんが、本年は先生方の種目のすくなかったのが淋しく思いました。

2. 以下回答なし

（その二）

1. の服装　女子はよいと思います。男子は服装を統一したがよいと思います。

㈡昼食　現在のままの方が楽しいからよいと思います。

㈢開食　今年のようにした方がよいと思います。

㈣会場　今年の方がよいと思います。児童が熱が入ってよいと思います。分団別入場行進など非常によかったと思います。

㈤分団別対抗

㈥種目　男子の高年のフィールド種目は 今年はとてもよかったと思います。

2、3、4 回答なし

体育会に おもう （その三）

朝からよい天気なので 何の気づかいもせず おべんとうの用意ができた。私が行ったときには 二つ三つすぎていた。

まづ子供たちの元気な姿が私の目にとびこんで来た。何もかもみなわすれて、親子ともにたのしい一日をすごすことができた。家にいる小さい子供もどんなにきょうの日をまっていたことだろう。おじいさん おばあさんしら。校庭で一家そろっての昼食、おなかをへらし 汗とほこりにまみれた足をなげ出して、どんなにおいしく食べ、話すかしら。そうそう早くしなくては、「おばあちゃん 何の中へ入れて行こうかしら、梨と柿も入れて、お茶も持って行くわ」

きのうのつか小どこへやら、西平にいっぱいさげて 今走ったのがそうかしら、今友走るのかしらと、我が足のもどかしいこと、心はとうくに学校へとんでいる。

道行く人と「里帰りのようね」とめらいあいながら 学校へいそいだ。

五上 小菊

体育会の朝 （その四）

「わあっ 花火だ。すがすがしい朝の空気を破って、青空に高くひびきわたる音。地には稲穂が黄金の波をよせて、きょうのこのよろこびをいっしょに味わっているようだ。

「母ちゃん 洋服させて、早く行かんと、ぼくら三番目にはしるで、その外までに来てや、本当に来てや」とのことばを残してよろこびいさんで 元気よくかけてゆく子供の姿。そのうしろ姿はどんなかしら。校庭で一家そろっての昼食、おなかをへらし 汗とほこりにまみれた足をなげ出して、どんなにおいしく食べ、話すかしら。そうそう早くしなくては、「おばあちゃん 何の中へ入れて行こうかしら、梨と柿も入れて、お茶も持って行くわ」

きのうのつか小どこへやら、西平にいっぱいさげて 今走ったのがそうかしら、今友走るのかしらと、我が足のもどかしいこと、心はとうくに学校へとんでいる。

道行く人と「里帰りのようね」とめらいあいながら 学校へいそいだ。

五上 小菊

すぎた秋の体育会

朝 学校から打ち上げた花火の音をきき乍ら、きょうは天気で体育会ができるとよろこんで、二人の子供はみじたくもそこそこに学校へとんでゆきました。

当日は朝からの作業止めですから、秋のいそがしい中にも気らくでした。いそいで昼食をつくり八時ごろ学校へ行きました。

たくさんのいろいろな旗の下で、紅白にわかれた児童が小しそうに身がるな服装でがんばっていました。色々な競技の行なわれますごとに、手にあせをにぎりながらの応援です。そうこうするうちに昼や昼食、内庭動場でそれぞれ一家の人々が小さな円陣をつくって、たのしくいただきました。

会場も例年よりかわりまして、見やすくなり、特に午前の分団別対抗の入場などは きれいな光景でした。青年団の方の種目、愛護会の種目みなりっぱなものでございました。

当日はよい晴天にめぐまれた 体育会日和であったことは、今なおよろこんでおります。

諸先生をはじめ 校下の青年団の方々いつもながらの御協力心からお礼申し上げます。

青木 すゞか

分団別対抗について

（その七）

当新郷校下は 市町村行政区画により、現在五部落に編成されている。これは行政的立場からで致し方もない事であり、次に年齢から行なわれた分団の区別であるが、自屋、本堂、宮前の三部落の協力団結という事は、水道工事はじめての他の点でも、中洲河原に対しての多勢に従する自然的な自他共に認めた実社会の集約である。

そして学校の体育会にもこの三分団の区別を用いた事も一つのよい案かもしれないが、次のような考案からすれば面白みがあると思う。

児童の体格的、身体的な差異が大きい。それは児童の発育の差異、三部落散在のためのチームワーク統一の不利、これらは概して物的に不均等である。こう言う事は大人のみ、または子供もまじへての競技区別ならばさしつかえないとも考えるが、児童のみの場合はやはり紅白組にすべきであると思う。

これが三分団の実力の差がいつも絶対的であるとすれば、一つ校内にいながらにして、幼い時から敵愾、対学校、または隣部落の感情を与えないでもない。

それは一時的なものかもしれないが学校という教育の場においてはマイナスではなかろうか。小学校は人格の完成されていない社会的参加の発達段階の初歩である。また学校の体育会などというものは 発生記念に残るものである。

雪着が黄組故に負けおしみ的幼稚な勝敗の論争であるかのように思われるかもしれないが、けっしてそうではなく 純白な児童に公平かつ均等な組分けをしてやり、協力心 競争心の意欲を与えてやりたいと思って感想私見をのべたしだい。

（宮前 里世係）

（その七）

別に意見はない

（四）衣装 村全部家族全部出席するので ピクニックのようである。それほど高価なものも購入していないし、家庭は手伝あまり料理にも慣れていないので現在のでよいと思う。

（五）食 中止したがよい。しかし店も出ているので子供達は一人でも食べているとほしくなる。そこで学校をみはなれでただ歩きまわって食べていろ子もある。

（六）会場 本年のがよい。

（七）分団別対抗 初めてで子供の心理的部落反感がなければ大変よい。

（八）種目 変った競技が二、三あったがよい。

2、3、4 回答なし。

体育会を終えて

児童会長 竜田章世

待ちに待った僕たちの体育会もよい天気にめぐまれて楽しく無事に終る事ができた。午前八時三十分開会式。君がいと共に晴れわたった秋空に四の丸の旗がするすると上げられた時には身も心もひきしまった。続いて準備体操をした。僕が代表して台上に立った時お父さん、お母さん、青年団のお方、消防団の方々が守り早くからお集り下さった事を非常にうれしく思った。競技が始まると選手のお方、消防団のお方も僕たちに協力してプログラムを進めて下さった。このような規則正しいところは外ではみられないと思った。

今年はいつもとはおもむきをかえて大体午前中は学校を中心とした競技を、午後は黄、赤、青と校下を分団に分けた。競技の前に各分団ごとに旗をかかげての入場。部落対抗で採点したのは見ている人も競技する僕たちも非常に緊張が入り面白いと思った。採点をしても別に勝敗にこだわらず、いつもニコニコしてすごすところもなかなかよいと思った。プログラムも進んで老人の宝さがし、僕はだれも出ないだろうと思ったが、おじいさんもおばあさんもたくさん出て、拍手と笑いにおくられて楽しそうに走った。こんな事もちょっとみられないと思う。ちょうどこの日は老人福祉の日。ぼくのおばあさんも走った。僕はおどろいたが、とてもうれしかった。テントの席でお茶おかしの接待をうけ子供にかえって走ったり歩いたりどれほどうれしかった事だろう。ますます長生きしてほしい。楽しく気持よく競技もすんで、最後の整理運動にふたたび台上にのった時、「先生ありがとうございます」「おとうさん おかあさんありがとうございます」と心の中で言いました。

万才三唱と共に国旗は下された。終りをつげる花火。最初台に上った時とはちがった思いがした。

このよい学校で、よい先生、おとうさん おかあさんと楽しく体育会に参加するのもこれが最後だと思うと、なんだかさみしくて胸が固くなる思いだった。こんな楽しかった体育会もうすんだ。これからもこのような体育会が続くようにと祈っている。

珠算検定迫る

来る十月二十六日（日曜日）に、南支会議所主催の珠算検定試験が芦原中学校で行なわれます。

本校はこれで二回目の参加で、前回にもまして熱の入れ方です。毎回四年以上がパチパチと猛練習。

参加人数は次の通り

四級	三名
五級	三十六名
六級	三十名
七級	三十七名
合計	九十六名

廃品回収についての報告と礼

去る八月十四日当林の婦家から廃品を集め、それを各区の委員の方々の御世話により学校に回収いたしました品物につき左の様に御報告致します。

当林及び委員の方には御多忙の折に、子供の為にご協力下さった暑い御仕事には全く感謝する外はありません。こうした暑い汗による奉仕は御子林の血となり肉となるよい参考書、学習の手引、子供の情操を培う読物を買いたいと存じます。こうした奉仕作業は年に一回位は今後ずっと続けたいと思いますので、意見が出ました際は御まとめの下さって委員のお方持ちはこびやすいようにして下さると、何よりもよい収穫会の仕事の一つとなりましょう。

内訳

雑誌新聞類	一七五貫 四三七五円
ボロ類綿糸	三九〃 一四七四〃
金属類（鉄）	五〃 一七五〃
〃（毛糸）	二〃 七六〃
廃品	三三八貫
金額	八三〇〇円

編集後記

体育会もすんで早や一ヶ月、この「郷の集い」体育会特集号も もっと早くお手元におとけ致したかったのですが、何かとりそがしそのびのびになり、まことに申しわけございませんでした。ようやく三号になりました。これも当林の協力のたまものです。今後共によろしく御投稿をお願いします。

つれづれなるままに

毎日新聞記者の「女の気持」という欄をもじって、親の気持とでも言いましょうか、子供が学校から帰り、誰も居らない時戸だけなどを閉じまわっている時、衣のとり入れだし、着仕がしいので夕食のおかずの調理さえも出来ず、店やで何か買って来てくれと言い、おかねを十四円だと（買物以外の金）ようこんで自転車でとび出し用達を手伝ってくれます。

家のものが昼野食からかえるころには言わなくてもそうじか、湯殿の水などみたしています。十円が大変効くのでしょう。用件を言うたり手伝をいわないとしないものですが、大変たすかります。

学校から帰るころはおなかがすいているのでしょう。時には何かもえることですね。